



北垣郁雄教授

経 歴

1947年 8月 9日 豊橋市に生まれる

学 歴

1966年 3月 愛知県立旭丘高等学校卒業
 1966年 4月 東京工業大学 理工学部入学
 1970年 3月 東京工業大学 工学部 電子物理工学科卒業
 1970年 4月 東京工業大学 大学院 電気工学研究科電子物理工学専攻修士課程入学
 1972年 3月 東京工業大学 修了

学 位

1981年 1月 工学博士（東京工業大学：工第809号）

職 歴

1972年 4月 東京瓦斯株式会社社員
 1973年 7月 東京工業大学工学部助手
 1980年 3月 福岡教育大学教育工学センター助手
 1986年 6月 雇用促進事業団職業訓練大学校 職業訓練研究センター研究員
 1993年 4月 雇用促進事業団ポリテクカレッジ群馬（群馬職業能力開発短期大学校）
 情報技術科講師
 1995年 7月 雇用促進事業団ポリテクカレッジ群馬（群馬職業能力開発短期大学校）
 情報技術科助教授
 2000年 4月 広島大学大学院 教育学研究科／高等教育研究開発センター教授
 2009年 7月 株式会社メディアみらい代表兼務

学 術 賞

2008年 ICVL Excellence Award “Intel®Education” - USD 500

学界及び社会における活動等

1973年度～現在 電子情報通信学会
 1978年 3月 インドネシア共和国に教育工学専門家として短期派遣
 1980年 4月～1982年 3月 福岡市立教育センターにて教育工学にかかる指導
 1984年度～現在 日本教育工学会
 1986年度～現在 日本知能情報ファジィ学会
 1989年10月～1989年12月 ザンビア共和国に教育工学専門家として短期派遣

1996年度～現在	教育システム情報学会
1998年10月～1998年11月	フィリピン共和国に教育工学専門家として短期派遣
2000年度～現在	日本高等教育学会
2000年度～現在	日本笑い学会
2002年11月	RCC 中国放送にてテレビ出演「学びの未来」
2003年7月	4 th Int'l Conference on Information Technology Based Higher Education and Training にて, Program Committee および Chairman
2003年8月	民主教育協会主催の学生生活研究会にて講演
2004年度～現在	日本テスト学会
2004年	Member of the Editorial Advisory Board of the Advances in Web-based Learning (AWBL) Book Series (USA)
2004年4月16日	テレビ放映—フジテレビネットワーク「トリビアの泉」に出演ならびに「笑いの科学」の作品発表
2004年8月12日	テレビ放映—RCC 中国「広島満点ママ」に出演
2004年9月	フジテレビ・トリビア普及委員会編「トリビアの泉～ヘエの本～」講談社, 2004, 129-130頁.
2004年9月15日	テレビ放映—フジテレビネットワーク「トリビアの泉」に出演ならびに「笑いの科学」の作品発表
2004年12月	フジテレビ・トリビア普及委員会編「トリビアの泉～ヘエの本～」講談社, 2004, 125-126頁.
2005年2月16日	テレビ放映—RCC 中国放送「ごじテレ」に出演
2005年2月18日	新聞報道—中国新聞「高等教育オンラインシステム」掲載
2005年3月8日	テレビ放映—RCC 中国放送「ごじテレ」に出演
2005年12月1日～12月31日	全日空国際線機内ビデオにて上記「トリビアの泉」放映
2006年9月15日	新聞報道—広島大学新聞「コンピュータを教育に, 大学創造にユーモアを」掲載
2007年9月	Associate editor of International Journal of Web-Based Learning and Teaching Technologies (IJWLTT)
2011年10月～2012年2月	電気通信大学非常勤職員

広島大学主要委員会等における活動

2000年10月～2003年3月	広島大学社会貢献評価委員会委員
2000年4月～2002年3月	広島大学大学院教育学研究科教務委員会委員
2000年4月～現在	広島大学高等教育研究開発センター運営委員会委員
2000年4月～	随時, 広島大学高等教育研究開発センターに係る人事委員および人事委員長を担当

2001年4月～2004年3月	広島大学大学院教育学研究科代議員会委員
2002年4月～2005年3月	広島大学教育学研究科高等教育開発専攻長
2002年4月～2004年3月	広島大学大学院教育学研究科総務委員会委員
2002年4月～2005年3月	広島大学教養教育・教育方法開発専門委員会委員 (FD 関連業務)
2002年10月～2002年12月	広島大学大学院教育学研究科学内教員審査委員
2004年4月～2006年3月	広島大学教養教育委員会委員・同企画副部門長 (FD 関連業務)
2004年5月～2012年3月	広島大学省エネ推進委員会委員
2005年4月～2006年3月	広島大学教養教育委員会委員・教養教育企画 WG
2007年4月～2010年3月	広島大学教育学研究科高等教育開発専攻長

研究業績一覧

I 著書

(1) 単行本

1. 『電子通信ハンドブック』(共著), オーム社, 1979, 全2201頁.
2. Flexible Learning Systems (共著), Illustrative Characteristics of the Figures in Science Material and Construction of Educational Computer Graphics, Nichols Pub. Comp. (USA), 1987, 429p.
3. 『講座・教育情報科学3』(共著), 第一法規, 1988, 全277頁.
4. 『新教育大事典第3巻』(編著), 第一法規, 1990, 全587頁.
5. 『教育システム工学3』(共著), 第一法規, 1993, 全210頁.
6. 『ファジィ教育情報科学』(編著), 早稲田大学出版部, 1995, 全170頁.
7. 『大学授業の技法』(編著), 有斐閣, 1997, 全293頁.
8. 『情報教養「表現スキル～作図と作表～」のコース開発; 高等教育にかかわる教育工学的研究』(高等教育研究叢書70)(単著), 広島大学高等教育教育研究開発センター, 2002, 全65頁.
9. 『教育用語辞典』(共著), ミネルヴァ書房, 2003, 全547頁.
10. Encyclopedia of Information Science and Technology (共著), Promotion of E-Government in Japan and Its Operation, Idea Group REFERENCE, 2005.
11. 『高等教育概論』(編著), ミネルヴァ書房, 2005, 全263頁.
12. 『大学力』(編著), ミネルヴァ書房, 2006, 全320頁.
13. 『科学技術時代の教育』(編著), ミネルヴァ書房, 2006, 全301頁.
14. 『中国の学生エリート養成企画の調査—40余重点大学における優等的特別措置—』(高等教育研究叢書97)(編著), 広島大学高等教育研究開発センター, 2008, 全163頁.
15. 『笑いの科学 Vol.1』(編著), ユーモア・サイエンス学会, 2008, 全143頁.
16. 『笑いを科学する—ユーモアサイエンスへの招待—』(編著), 新曜社, 2010, 全247頁.
17. E-Learning for English Language Speaking Skill, Annals of Spiru Haret University, Mathematics-Informatics Series 2010 (VI, special issue).
18. 『アメリカの学生エリート養成企画の調査—東海岸の23州立大学の優等学院—』(高等教育研究叢書111)(編著), 広島大学高等教育研究開発センター, 2011, 全85頁.

(2) 報告書

1. 『職業訓練における OHP の活用技術』職業訓練研究センター, 1988.
2. 『CAI 開発のための画面設計ヒント集』職業訓練研究センター, 1989.
3. 『ファジィ評価システム〈あいまいくん1.0〉の設計概念と利用手引き』職業訓練研究センター, 1989.
4. 『ファジィ評価システム〈あいまいくん1.1〉の設計概念と利用手引き』職業訓練研究セン

ター, 1991.

5. 『教育訓練の評価におけるコンピュータの活用』 職業訓練研究センター, 1991.
6. 『外国人留学生確保戦略と国境を越える高等教育機関の動向に関する研究』 (高等教育研究叢書94) (編著), 広島大学高等教育研究開発センター, 2007, 全94頁.

II 翻訳

Subject benchmark statements

<http://www.qaa.ac.uk/academicinfrastructure/benchmark/honours/default.asp>

代表: 有本章『学位に関するベンチマーク・ステートメント』 広島大学高等教育研究開発センター2007. 北垣郁雄「工学」421-439頁.

III 論文

(1) 教育・学習関係

1. Design and Evaluation of a Concerto Simulator (共著), Japan Jour. of Educ. Technol. Res. 1, 1977, pp.33-37.
2. 「コンピュータによる楽音認識の試み」(共著), 『日本音響学会誌』 Vol.33, 9, 1977, 464-469頁.
3. 「学習者にコメントをフィードバックする成績評価システムの電気磁気学への適用; ネットワーク構造をもつ選択式テスト解答の一分析・評価法」(共著), 『日本教育工学雑誌』 Vol.3, 3, 1978, 115-123頁.
4. 「階層構造をもつ選択式テスト問題における不合理な正答の発見に関する確率論的考察」(共著), 『日本教育工学雑誌』 Vol.3, 4, 1979, 145-123頁.
5. 「VTRによるコンサートシミュレータの設計とその評価の試み」(共著), 『日本教育工学雑誌』 Vol.4, 2, 1979, 53-61頁.
6. 「学習者の相互相談によるテスト解答の吟味を目的とした学習指導システム」(共著), 『日本教育工学雑誌』 Vol.5, 1, 1980, 23-33頁.
7. 「基礎練習曲によるピアノ訓練者の奏法特徴抽出とその評価の試み; その演奏音の定量的取扱いについて」(共著), 『日本教育工学雑誌』 Vol.5, 3, 1980, 129-139頁.
8. 「学習者の相互相談によるテスト解答の吟味を目的としたテスト演習システムに関する一考察」(共著), 『科学教育研究』 Vol.5, 1, 1981, 22-28頁.
9. 「統計的決定理論に基づいた教育システムの適用に関する意思決定」(共著), 『電子通信学会論文誌』 Vol.J64(A), 5, 1981, 386-393頁.
10. A New Logic of Linear Discriminant Analysis Applicable to Education (単著), IECE, Vol.E64, 11, 1981, pp.693-699.
11. 「テスト解答を素材とした小集団グループ学習のためのテスト素材に関する研究」(単著), 『福岡教育大学教育工学センター教育工学研究紀要』 第3号, 1981, 29-35頁.

12. 「学習要素の構造化とその修正の一手法」(単著), 『福岡教育大学紀要』第31号第4分冊, 1981, 303-310頁.
13. 「テスト問題の挿入図の効果について」(共著), 『日本教育工学雑誌』Vol.7, 1, 1982, 21-28頁.
14. 「授業分析装置の出力表示方法に関する一検討」(共著), 『福岡教育大学教育工学センター教育工学研究紀要』第4号, 1982, 25-31頁.
15. 「パソコンを利用した授業情報分析装置の開発」(単著), 『福岡教育大学紀要』第32号第4分冊, 1982, 217-220頁.
16. 「ファジィ教育情報の情報価値についての一考察」(単著), 『福岡教育大学教育工学センター教育工学研究紀要』第5号, 1982, 41-47頁.
17. 「スペクトル構造と音圧の情報を利用したヴァイオリンの bowing の特徴抽出」(単著), 『日本音響学会誌』Vol.40, 1, 1984, 10-17頁.
18. 「教育実習におけるプロンプティング用ワイヤレス送受信機システムの開発とその適用基準」(共著), 『日本教育工学雑誌』Vol.8, 4, 1984, 155-162頁.
19. 北垣郁雄:ワードプロセッサを用いたテスト教材プールの制作手続きについて」(単著), 『日本教育工学雑誌』Vol.8, 4, 1984, 177-187頁.
20. 「モアレ・反転モアレによる同心円状進行波・微粒子群の演示のための簡易 OHP 教具とその評価」(単著), 『電子通信学会論文誌』Vol.J68(A), 1, 1985, 1-8頁.
21. 「科学教材での描写図の図形的特徴と教材グラフィックスの構成」(単著), 『日本教育工学雑誌』Vol.9, 3, 1985, 101-110頁.
22. Simple OHP Equipment for Demonstrating Centrifugal Spherical Waves and Group of Minute Articles by Using Moire and Reversal Moire and Their Evaluation (単著), Scripta Technica, Vol.68, 12, 1985, pp.17-26.
23. 「琉球舞踊の基本型に関するビデオ教材の構成」(単著), 『福岡教育大学紀要』第35号第5分冊, 1985, 163-172頁.
24. 「モアレを利用した物理系簡易 OHP 教具の開発」(単著), 『電子通信学会論文誌』Vol. J69(A), 3, 1986, 334-340頁.
25. 「教師の発言技法の評価とその音響的特徴」(共著), 『日本教育工学雑誌』Vol.10, 3, 1986, 19-29頁.
26. Characteristics of Science Educational Illustrations and the Con-structs of Educational Computer Graphics (単著), IEICE, E70, 1, 1987, pp.65-70.
27. Development of Several OHP Equipment of Physics Using Moire Patterns (単著), Scripta Technica, Vol.70, 8, 1987, pp.1-10.
28. 「CAI のコースウェアの設計基準と評価概念」(共著), 『日本教育工学雑誌』Vol.12, 1, 1988, 21-28頁.
29. Development of an Evaluation Method on a Teacher's Speaking Skill and the Administration; A

- Basic Research of Educational Technology (共著), IEICE, Vol.E71, 9, 1988, pp.858-863.
30. 「意識調査にかかわるデータ解析のための ρ -ファジィ測度について」(単著), 『電子情報通信学会論文誌』 Vol.J71-A, 5, 1988, 1213-1214頁.
 31. 「作業的な訓練にかかわる意識構造の抽出」(共著), 『日本教育工学雑誌』 Vol.13, 1, 1989, 29-39頁.
 32. Extraction of Consciousness Structures as to the Training of a Turning Lathe; Using DEMATEL Method (共著), IEICE, Vol.E72, 8, 1989, pp.898-902.
 33. 「CAIでのテスト問題におけるゲーム論的出題様式の検討」(単著), 『電子情報通信学会論文誌』 Vol.J72-D-II, 3, 1989, 452-454頁.
 34. 「近未来社会のための技術教養と教育工学研究について」(単著), 『日本教育工学雑誌』 Vol.13, 4, 1989, 159-164頁.
 35. 「ファジィ積分による教育システムの評価とその応用;意識調査データの一処理法」(単著), 『日本教育工学雑誌』 Vol.13, 4, 1989, 149-158頁.
 36. 「CAIの意識調査と職業能力開発」(共著), 『科学教育研究』 Vol.14, 3, 1990, 147-151頁.
 37. A Consciousness Survey on CAI and the Vocational Training (共著), Educ. Technol. Res., Vol.13, 1990, pp.53-58.
 38. 「ファジィ評価システムの開発研究」(単著), 『電子情報通信学会論文誌』 Vol.J74-D-I, 2, 1991, 101-108頁.
 39. 「ゲーム論的出題様式における確信度の算出法」(単著), 『日本教育工学会論文誌』 Vol.15, 2, 1991, 101-103頁.
 40. 「訓練カリキュラムの開発のための意識調査とその分析:指導員研修コースの設定に向けて」(単著), 『日本教育工学会論文誌』 Vol.18, 1, 1994, 25-36頁.
 41. Technology Literacy in the Immediate Future and Educational Technology (単著), Jour. of Educ. Technol. Systems, Vol.23, 4, 1994/1995, pp.369-381.
 42. 「ファジィ積分を用いた学習者のグループ性の評価」(単著), 『電子情報通信学会論文誌』 Vol.J79-D-II, 11, 1996, 1888-1896頁.
 43. Development of a Tele-Oral Test Hardware System Using Video Equipments and its Evaluation (共著), Jour. of Educ. Technol. Systems, Vol.27, 1, 1998/1999, pp.63-69.
 44. 「海外援助国におけるAV技術移転の実施例と考察」(単著), 『職業能力開発報文誌』 Vol.10, 2, 1999, 49-52頁.
 45. 「就職活動の技術支援に関する一実験」(単著), 『広島大学高等教育研究開発センター・大学論集』 第32集, 2002, 17-28頁.
 46. 「電子アンケートにおける表示方式の一検討」(単著), 『教育システム情報学会誌』 Vol.20, 3, 2003, 304-309頁.
 47. 「情報教養コース概念図の表現スキルの開発」(単著), 『教育システム情報学会誌』 Vol.20, 3, 2003, 333-338頁.

48. 「ディスプレイ回転に関する一実験」(単著), 『電子情報通信学会論文誌』 Vol.J79-C-II, Vol.J88-C-II, 10, 2005, 811-814頁.
49. 「電子アンケートシステムの試作」(単著), 『日本知能情報ファジィ学会誌』 Vol.17, 5, 2005, 599-606頁.
50. 「高等教育のための調和的人材育成に関する意識調査とデータ解析」(共著), 『日本知能情報ファジィ学会誌』 Vol.18, 3, 2006, 496-502頁.
51. 「高等教育関連コンテンツの内容的特徴の一視覚化表現法—三角錐の活用—」(共著), 『日本知能情報ファジィ学会誌』 Vol.18, 5, 2006, 745-751頁.
52. Development of an algorithm for groupware modeling for a collaborative learning (共著), Int'l Journal of Computers, Communication & Control, Vol.II, 1, 2007, pp.66-73.
53. 「優等学院に対する教育学部生のイメージ調査と分析」(共著), 『広島大学高等教育研究開発センター・大学論集』 第39集, 2008, 307-318頁.
54. On Training Excellent Students in China and the United States (共著), Journal of the National Collegiate Honors Council, Vol.9, No.2, 2008, pp.45-54.
55. 「外国語学習に係る速読用課題提示システムについて」(単著), 『広島大学大学院教育学研究科紀要』 第三部 (教育人間科学関連領域), 第57号, 2008, 335-340頁.
56. 「優等学院等, 学生に対する優等的特別措置の調査研究—アメリカと中国を中心に—」(共著), 『広島大学高等教育研究開発センター・大学論集』 第40集, 2008, 17-29頁.
57. Discussion Support System for Intra-class Discussions and the Criteria for Group Making (単著), International Journal of Computers, Communications & Control, Vol.IV, No.1, 2009, pp.33-40.
58. 「研究者グループの構成的特徴について」(単著), 『広島大学高等教育研究開発センター・大学論集』 第41集, 2009, 15-26頁.
59. 「優秀な学生に対する特別措置と高等教育の新たな展開」(単著), 『世界平和研究』 186号, 2010, 40-47頁.
60. 「一学術団体に対する若手研究者の意識調査と分析」(単著), 『広島大学高等教育研究開発センター・大学論集』 第42集, 2010, 348-352頁.

(2) 人間科学関係

1. 「ヴァイオリンにおけるヴィブラートの周波数変動と音圧レベル変動について」(単著), 『福岡教育大学紀要』 第33号第5分冊, 1983, 103-110頁.
2. 「2~3の自然楽音におけるヴィブラートの物理的特徴抽出」(単著), 『福岡教育大学紀要』 第34号第5分冊, 1984, 93-102頁.
3. 「ループ探索法による閉領域の同定の算法」(単著), 『電子情報通信学会論文誌』 Vol. J70(D), 4, 1987, 797-803頁.
4. 「話し言葉のリズムの存否について」(単著), 『電子情報通信学会論文誌』 Vol.J70-A, 5, 1987, 846-847頁.

5. A Statistical Characteristic of a Physical Measure of Proficient Speech (単著), J. Acoust. Soc. Jpn., (E)9, 6, 1988, pp.301-303.
6. 「おかしみの誘発にかかわるファジィ論的定式化と通俗性／劣弱性；学生の休日と徒競走のピリ」(単著), 『日本ファジィ学会誌』2(1), 1990, 100-104頁.
7. 「笑いとおかしみの類型および教育との接点について」(単著), 『笑い学研究』11, 2004, 11-18頁.
8. 「おかしみの誘発モデルと笑うコンピュータの開発事例」(単著), 『日本ファジィ学会誌』15(5), 2005, 577-583頁.
9. 「ユーモア的観点からみた大学創造と考察」(共著), 『笑い学研究』14, 2007, 20-25頁.

IV 学会発表

(1) 国内

1. 「製図教室への ITV システムの導入」(共同), 昭和49年度電子通信学会全国大会, 1974, 1519頁.
2. 「演奏シミュレータ」(共同), 昭和50年度電子通信学会全国大会, 1975, 1184頁.
3. 「テスト問題における選択式と文章記述式との比較」(共同), 昭和51年度電子通信学会総合全国大会, 1975, 1184頁.
4. 「テレメールと CCTV を用いた遠隔キャンパスへの授業伝送システム」(共同), 昭和51年度電子通信学会通信部門全国大会, 1976, 527頁.
5. 「コメント文決定表の作成のための解答パターンの頻度表示」(共同), 昭和52年度電子通信学会総合全国大会, 1977, 6/252頁.
6. 「ピアノ訓練者の運指の特徴抽出とそのフィードバック」(共同), 日本音響学会講演論文集, 1977, 235-236頁.
7. 「ピアノ訓練者の運指の特徴抽出とそのフィードバック」(共同), 昭和53年度電子通信学会総合全国大会, 1978, 6/217頁.
8. 「ピアノ演奏者の基礎練習のための運指訓練装置」(共同), 日本音響学会講演論文集, 1978, 551-552頁.
9. 「ピアノ訓練者の基礎練習の一評価法」(共同), 日本音響学会講演論文集, 1978, 615-616頁.
10. 「学習者相互の相談によるテスト解答の吟味を目的とした学習指導システム」(共同), 1979日本科学教育学会年会, 1979, 205-206頁.
11. 「学習者相互相談システムとコメントフィードバックシステムに関するアンケート分析」(共同), 昭和55年度電子通信学会総合全国大会, 1980, 6/258頁.
12. 「統計的決定理論にもとづいた教育システムの適用に関する意思決定」(共同), 日本科学教育学会年会, 1980, 155-156頁.
13. 「ヴァイオリンにおける運弓法の相違とスペクトル・音の大きさとの関係について；職業音楽家とアマチュア(子供)の演奏比較」(単独), 日本音響講演論文集, 1983, 347-348頁.

14. 「OHP 提示した書画の情報価値について」(単独), 日本科学教育学会年会, 1983, 105-106 頁.
15. 「モアレ・反転モアレによる同心円状進行波・微粒子群の演示のための簡易 OHP 教具」(単独), 電子通信学会総合全国大会, 1984, 7/184頁.
16. 「モアレ・反転モアレを用いた電磁気用簡易 OHP 教具の開発」(単独), 日本科学教育学会第8回年会, 1984, 336-337頁.
17. 「発言技法にかかわる教育実習評価法の開発と音響測定; 理科教育の場合」(単独), 教育工学関連学協会連合全国大会, 1985, 273-274頁.
18. 「教師の話法の物理的特徴と話し言葉のリズムの存否について」(単独), 日本教育工学会第2回大会, 1986, 45-46頁.
19. 「教師の話法の物理的特徴と話し言葉のリズムの存否について」(単独), 電子通信学会総合全国大会, 1986, 7/229頁.
20. 「話し方の音響的考察; 教師の例」(単独), 日本音響講演論文集, 1986, 143-144頁.
21. 「意識調査にかかわるデータ解析のための ρ -ファジィ測度について; ファジィ積分による評価」(単独), 電子情報通信学会春季全国大会, 1988, 1/173頁.
22. 「意識調査にかかわるデータ解析のための ρ -ファジィ測度とその応用; ファジィ積分による評価」(単独), 第4回ファジィシステムシンポジウム講演論文集, 1988, 235-240頁.
23. Development of ρ -Fuzzy Measure for Consciousness Survey (単独), Int'l W. S. on Fuzzy System Applications, 1988, pp.129-130.
24. 「近未来社会のための技術教養と評価力」(単独), 教育工学関連学協会連合第2回全国大会, 1988, 599-600頁.
25. 「尺度構成のファジィネスに基づいたファジィ評価システムの設計と開発」(共同), 5th Fuzzy System Symposium, 1989, 189-194頁.
26. 「ゲーム論的 CAI における利得について」日本教育工学会第6回大会, 1990, 49-50頁.
27. 「言語にかかわるあいまいさの分類と1~2の応用例」(単独), 6th Fuzzy System Symposium, 1990, 327-328頁.
28. 「笑にかかわる教育向けコンピュータの構築論理」(単独), 電子情報通信学会秋期大会, SA-7-1, 1992, 1-275頁.
29. 「あいまいな文脈の視覚化技法」(単独), 電子情報通信学会教育工学研究会, ET-92-2, 1992, 1-8頁.
30. 「駄洒落にかかわる同音の抽出と模擬ソフトの評価」(単独), 電子情報通信学会教育工学研究会, HC-92-65, 1993, 1-6頁.
31. 「ファジィ積分による学習時のグループウェアアルゴリズム」(単独), 電子情報通信学会教育工学研究会, ET-93-71, 1993, 37-42頁.
32. 「ファジィ積分による学習時のグループウェアアルゴリズムとその適用事例」(単独), 電子情報通信学会教育工学研究会, ET-93-77, 1993, 7-10頁.

33. 「ファジィ積分による学習用グループウェアアルゴリズムに関する一検討」(単独), 電子情報通信学会教育工学研究会, ET-94-101, 1994, 61-66頁.
34. 「劣俗性にかかわる笑うコンピュータのソフト開発事例と仮想世界について」(単独), 電子情報通信学会教育工学研究会, HC-94-76, 1995, 1-8頁.
35. 「就職支援のための遠隔模擬面接と視線一致についての一実験」(共同), 日本教育工学会研究報告集, JET96-2, 1996, 103-110頁.
36. 「グループ討論におけるグループ性の評価指標について」(単独), 12th Fuzzy System Symposium, 1996, 725-726頁.
37. 「就職にかかわる面接訓練のためのマルチメディアシステムと面接の一評価法」電子情報通信学会技術研究報告」(共同), ET95-128, 1996, 123-130頁.
38. 「ディスプレイ回転装置の開発とその回転による画面の理解度等の変化」(共同), 電子情報通信学会技術研究報告, ET2000-25, 2000, 25-32頁.
39. 「おかしみの認知と教授・学習」(単独), 教育工学関連学協会連合第6回全国大会, 2000, 805-806頁.
40. 「笑いの認知的考察」(単独), 16th Fuzzy System Symposium, 2000, 289-290頁.
41. 「電子アンケートの提示書式に関する一検討」(共同), 2001年電子情報通信学会総合大会, D-15-35, 2001, 236頁.
42. 「電子アンケートの書式の一検討とファジィ論的扱いについて」(単独), 17th Fuzzy System Symposium, 2001, 463-464頁.
43. 「電子アンケートの提示書式に関する一検討」(単独), 電子情報通信学会総合大会, 2001, 236頁.
44. 「電子アンケートの提示書式に関する一検討(II)」(単独), 2001年電子情報通信学会情報・システムソサイエティ大会, D-15-20, 2001, 239頁.
45. 「情報教養コースのコース開発事例～概念図等の表現スキル～」(単独), 日本教育工学会第17回全国大会, 1a15-02, 2001, 187-188頁.
46. 「電子アンケートの書式の評価と発問構成」(単独), 電子情報通信学会技術研究報告, ET2001-07, 2001, 83-88頁.
47. 「電子アンケートの構成と一実験」(共同), 18th Fuzzy System Symposium, 2002, 371-374頁.
48. 「完全レシート式電子投票モデルに対する簡単な意識聴取」(単独), 電子情報通信学会総合大会, 2003, 210頁.
49. 「完全レシート式電子投票モデルに対する簡単な意識調査」(単独), 第13回ソフトサイエンス・ワークショップ講演論文集, 2003, 33-34頁.
50. 「大学院教育に係る博士課程のカリキュラムビジョンについて」(単独), 日本教育工学会, 63, 3, 2003, 37-44頁.
51. 「大学における教育活動の質的保証に関する研究」(共同), 日本高等教育学会大会, 2004, 164-169頁.

52. 「高等教育における調和的人材育成についての意識調査」(単独), 電子情報通信学会技術研究報告 ET2004-31, 2004, 13-18頁.
53. 「笑いの教育的／教育工学的仮説について」(単独), 日本教育工学会第20回全国大会, 2004, 1-2頁.
54. 「優等学生の特別措置の類型および優等学院に対する教育学部生の意識」(共同), 第14回大学教育研究フォーラム・カリキュラム研究部会, 2008, 54-55頁.
55. 「英語スピーキングスキルに係る短文暗記の直接効果と間接効果—外国語学習システムの開発研究—」(単独), 信学技報, ET2010-4, 2010, 15-18頁.
56. 「文章の暗記を目的とした外国語学習システムと教材の構成」(共同), 教育システム情報学会中国支部研究発表会講演論文集, Vol.10, 1, 2010.7, 33-36頁.
57. 「英語 e-Learning: 双子学生による学習比較実験」(共同), 教育システム情報学会第36回全国大会, 2011.10.05, 250-251頁.
58. 「英文暗記によるスピーキング PC 練習の TOEIC への影響」(共同), 日本教育工学会第27回全国大会, 2011, 323-324頁.

(2) 国際

1. An Instructional System Which permits the Students to Critically discuss their Own Test Answers (共同), The 8th Congress of the Int'l Ergonomics Association, Education & Training, Tokyo, 1982, pp.404-405.
2. Illustrative Characteristics of the Figures in Science Material and Construction of Educational Computer Graphics (単独), The 5th Educ. Technol. Int'l Conference, Edinburgh, 1986, pp.404-407.
3. Theory of Game-wise CAI and the Prerequisites (単独), ICOMMET'91, Tokyo, 1991, pp.289-292.
4. A Sophisticated Method of Questionnaires of Classroom Using a Computer And a Survey of the Format (共同), Proceedings of 2nd International Conference on Information Technology Based Higher Education and Training, Kumamoto, 2001, pp.92-96.
5. An Electronic Questionnaire System for Classroom Evaluation in Higher Education and Answer Data Processing Using Fuzzy Integral (共同), Proceedings of 3rd International Conference on Information Technology Based Higher Education and Training, CD-ROM, Budapest, 2002.
6. Sociometry Analysis System Applying Fuzzy Graph (共同), Proceedings of the IASTED Artificial Intelligence and Soft Computing, Orland, 2002, pp.626-629.
7. Development of the Informatics Culture Course 'Representational Skills for Drawing Conceptual Diagrams' Incorporating E-Learning (単独), Proceedings of ICTE2002, Badajoz, 2002, pp.491-495.
8. Full Confirmation Electronic Voting Model: Countermeasures to Forcible or Internal Illicit Improprieties (単独), Proceedings of IRMA, Philadelphia, 2003, pp.230-231.
9. An Electronic Questionnaire System and a Method of Answer Processing Using Fuzzy Theory (共

- 同), Proceedings of 4th International Conference on Information Technology Based Higher Education and Training, Morocco, 2003, pp.206-209.
10. Harmonious Fostering of Human Resources for Training Researchers and the Curriculum Vision (共同), the 2004 Hawaii Int'l Conference of Education, 2004
 11. Designing and Development fo Electronic Questionnaire System (共同), Proceedings of 5th International Conference on Information Technology Based Higher Education and Training, CD-ROM, Istabul, 2004.
 12. Development of an On-line System for the Quality Assurance in Higher Education (共同), Proceedings of Information Technology Based Higher Education and Training, Santo Domingo, 2005.
 13. A System for Browzing FD/SD Contents in Higher Education and the Consciousness Surveys (共同), E-learning 2005, CD-ROM, in Vancouver, 2005.
 14. An Illustrative Method for Higher Education Content by using a Triangular Pyramid (共同), Association for the Advancement of Computing in Education, CD-ROM, Orlando, 2006.
 15. Group Based Learning Activity For Fostering The Young Researcher; empowering the learners (共同), 31st International Conference, Improving University Teaching, CD-ROM, New Zealand, 2006.
 16. A Mobile phone based discussion system for the higher education (单独), IADIS International Conference Mobile Learning 2006, CD-ROM, Dublin, 2006.
 17. Development of the tool rotating a computer display and the experiment; human-computer interaction for the disabled users (单独), SCIS & ISIS2006, SA-C3-4, Tokyo, 2006, pp.1826-1829.
 18. Development of An Algorithm for Groupware Modeling for A Collaborative Learning (共同), International Conference on Virtual Learning, ICVL2006, Bucharest, 2006, pp.99-104.
 19. A consciousness survey on university creation characterized by humor (单独), The 2007 Improving University Teaching Conference, Poster Session, Jaen, 2007.
 20. Consciousness survey on a harmonious human resource development for higher education and the data analysis (单独), 10th International Conference on Education, Athen, 2007.
 21. Development of Group Division Algorithm And Discussion Support System for Intra-class Discussions (单独), Proceedings of the 3rd International Conference on Virtual Learning, Constanta, 2008, pp.101-108. [ICVL award "Intel@Education"]
 22. On a Computerized Foreign Language Learning System Displaying the Material for Prompt Translation; Situational Selection of a Material (单独), 9th Distance Learning and the Internet Conference 2008, 2008, pp.253-254.
 23. Development of a Prompt Translation Practice System for Foreign Language Learning Assisted by ICT and the Evaluation (单独), 2009 4th International Multi-Conference on Computing in the Global Information technology, Cannes de la Bocca, 2009, pp.211-216.
 24. Development of Foreign Language Learning System Focusing on Speaking and Evaluation of the

Effectiveness (单独), Proceedings of 5th International Conference on Virtual Learning, Tirgu Mure (Romania), 2010, pp.107-113.